



交付運用報告書（償還報告書）

作成対象期間

第16期

（2022年1月1日～2022年12月30日（償還日））

第16期末	
1口当たり純資産価格	136.34米ドル
純資産総額	1,519,349.53米ドル
第16期	
騰落率	-18.81%
1口当たり分配金額	該当事項はありません。

- (注1) 2022年12月30日（償還日）までにファンドの受益証券はすべて繰上償還され、償還日現在の純資産総額および1口当たり純資産価格は0となりました。本書中、第16期末の数値については、最終ファンド営業日である2022年12月30日時点での受益証券保有者に帰属する純資産総額および1口当たり純資産価格を記載しています。以下同じです。
- (注2) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算することとなっていますが、ファンドには分配金の支払実績がないため、1口当たり純資産価格の騰落率を記載しています。以下同じです。

その他記載事項

運用報告書（全体版）は代行協会員であるアイザワ証券株式会社のウェブサイト (<https://www.aizawa.co.jp/>) の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しています。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、フィリップ・アイザワ トラスト タイファンド（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第16期の決算を行いました。

ファンドの主な目的は、一貫したプラスのリターンを達成することです。投資運用会社は、主にタイで設立されまたは事業を行っている企業により発行された、上場株式、NVDR、債券、ワラントその他の証券、およびかかる証券のデリバティブ商品（オプション、先渡し、および先物を含みます。）にファンドの勘定で投資します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

また、ファンドは2022年12月30日付で繰上償還しましたことをお知らせいたします。

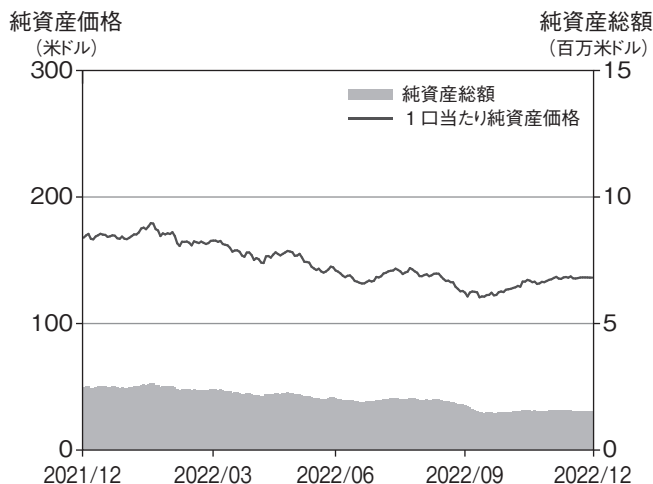
管理会社

 **FCインベストメント・リミテッド**
(FC Investment Ltd.)

代行協会員

 **アイザワ証券**

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



第15期末の1口当たり純資産価格

167.92米ドル

第16期末の1口当たり純資産価格

136.34米ドル
(分配金額：該当事項はありません。)

騰落率

-18.81%

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

2022年のタイ市場は、世界の株式市場が概ね軟調に推移する中で相対的に健闘しました。タイの主要指数であるSET指数は0.7%上昇（米ドルベースで3.2%低下）しました。

ファンドは当期、米ドルベースで18.8%下落しました。この数値は、市場全般のインデックスを下回りましたが、これはファンドの資産規模が小さいため、費用負担がパフォーマンスへの大きな重しとなったためでした。

(注1) 1口当たり純資産価格および純資産総額は、募集目論見書に従って計算されており、財務諸表中の数値（管理報酬、受託報酬およびその他の費用がその発生時に費やされるものとして作成されることがあり、また、金融資産評価勘定について期末における公正価値を調整した数値が表示されることがある）と異なることがあります。以下同じです。

(注2) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) ファンドにベンチマークは設定されていません。

費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（毎月後払い）	ファンド資産の管理・運用業務
受託報酬等		
①受託報酬	①ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（毎月後払い、毎月最低8,500米ドル）	①ファンドの受託業務
②管理事務代行報酬	②管理事務代行報酬（上記①の受託報酬から支払われる）、ファンドの登録事務代行業務に関して、年2,500米ドルを超えない額（比例配分に基づき毎月後払い。）および評価・取引手数料等	②ファンド資産の管理事務代行業務およびファンドの登録事務代行業務
③保管業務報酬	③保管会社および受託会社の間で合意した料率等の報酬	③ファンド資産の保管業務
投資運用報酬	・ファンドの純資産総額に対して年率0.70%（毎月後払い） ・以下の実績報酬 実績報酬＝（受益証券の1口当たり純資産価格－ハイ・ウォーターマーク）×10%×当該四半期中の発行済受益証券口数の平均	ファンド資産の運用業務
代行協会員報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.20%（毎月後払い）	1口当たり純資産価格の公表を行い、また、目論見書、運用報告書を販売取扱会社に送付する等の業務
販売報酬	ファンドの純資産総額に対して年率0.50%（毎月後払い）	口座内でのファンドの事務手続き、運用報告書等各種書類の送付、購入後の情報提供等
その他の費用（当期）	7.85%	監査報酬、弁護士および専門家報酬、源泉税、委託費用、その他費用および清算費用

（注）各報酬については、目論見書に定められている料率および金額を記しています。「その他の費用（当期）」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



	第11期末 (2017年 12月末日)	第12期末 (2018年 12月末日)	第13期末 (2019年 12月末日)	第14期末 (2020年 12月末日)	第15期末 (2021年 12月末日)	第16期末 (2022年 12月30日)
1口当たり純資産価格 (米ドル)	212.66	186.13	183.16	168.46	167.92	136.34
1口当たり分配金額 (米ドル)	該当事項はありません。					
騰落率 (%)	—	−12.48	−1.60	−8.03	−0.32	−18.81
純資産総額 (米ドル)	4,523,955.04	3,448,653.79	2,833,448.89	2,540,139.91	2,468,209.42	1,519,349.53

(注) ファンドにベンチマークおよび参考指数は設定されていません。

投資環境について

新型コロナウイルスの感染拡大とそのマイナスの影響が、2022年初めにもなお主要リスクの一部として投資材料を左右しましたが、タイは年度内に受注を全面的に再開し、インフレ率の上昇とそれに伴う金利上昇が当期中の主要なグローバル・リスクになりました。また、中国がゼロコロナ政策を採用した数少ない国の最後となったことを中心に、中国の成長見通しに対する投資家の懸念が徐々に拡大しました。国内経済は主に観光業と内需を支えに順調な回復を続けました。

ポートフォリオについて

株式の銘柄選択においては信用力を常に重視し、変化への適応力が強い事業や財政力を備えた株式を選好しました。ファンドの資産規模が小さいために費用負担がパフォーマンスへの大きな重しとなったことが、ファンドのパフォーマンスに影響を及ぼしました。

分配金について

該当事項はありません。



今後の運用方針

ファンドは2022年12月30日付で繰上償還いたしました。



お知らせ

ファンドの純資産総額が減少したことにより、ファンドの運用方針に沿った運用の継続が困難な状況になりつつあったことから、管理会社は、ファンドを2022年12月30日付で繰上償還いたしました。

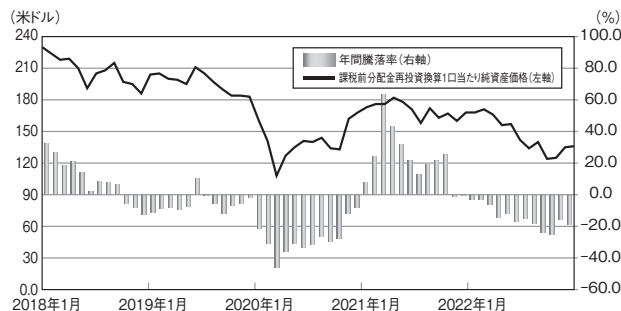
ファンドの概要

ファンド形態	ケイマン籍／契約型／外国投資信託（米ドル建て）
信託期間	ファンドは後記「繰上償還」に記載されるいずれかの事態が発生した場合を除き、2106年12月31日まで存続するとしておりましたが、2022年12月30日付で繰上償還いたしました。なお、ファンドは2007年1月5日に運用が開始されました。
繰上償還	ファンドは、下記の場合等に解散されます。 1. 受託会社と管理会社が合意した場合 2. 受益者集会において決議された場合 3. ファンドの純資産総額が500万米ドル以下になり、管理会社がファンドを終了する旨をファンドの受益者に3か月前に書面で通知することを決定した場合 この他の解散事由については目論見書をご覧ください。
運用方針	ファンドの主な目的は、一貫したプラスのリターンを達成することです。ファンドは、優れた中・長期のパフォーマンスの達成を目的とします。
主要投資対象	投資運用会社は、主にタイで設立されまたは事業を行っている企業により発行された、上場株式、NVDR、債券、ワラントその他の証券、およびかかる証券のデリバティブ商品（オプション、先渡し、および先物を含みます。）にファンドの勘定で投資しますが、投資対象はこれらに限られません。したがって、ファンドは、純資産総額の30%までは、タイ国外で上場されている企業の証券に投資することもできます。
ファンドの運用方法	ファンドは、主にグロース（成長）投資の手法を採用します。投資運用会社は、市場の非効率性を探し出し、従来の考え方にとらわれずに、これまでにないトレンドや、見過ごされてきた成長要因を見つける努力をします。投資運用会社は、極端に株価が過小評価されている企業や経営実績の悪い企業、あるいは極端に高成長の企業には投資を集中せず、株価が妥当で成長性のある企業に投資を行います。
主な投資制限	1 タイ国外で上場されている証券 直近の純資産総額の30%を超えない部分については、タイ国外で上場されている株式、債券、ワラントおよびその他の証券、ならびにかかる証券のデリバティブ（オプション、先渡しおよび先物を含みます。）に投資することができます。 2 デリバティブ ファンドは、ワラント、オプション、先物および先渡しを含むデリバティブに投資することができます。直近の純資産総額の15%を超えない部分は、かかる商品に投資することができます。 この他の投資制限については目論見書をご覧ください。
分配方針	管理会社は、その単独の裁量により、ファンドの収益ならびに実現および未実現キャピタル・ゲインの分配を行うことができます。分配金の一部またはすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。管理会社は、現在、分配金の支払を予定していません。

ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

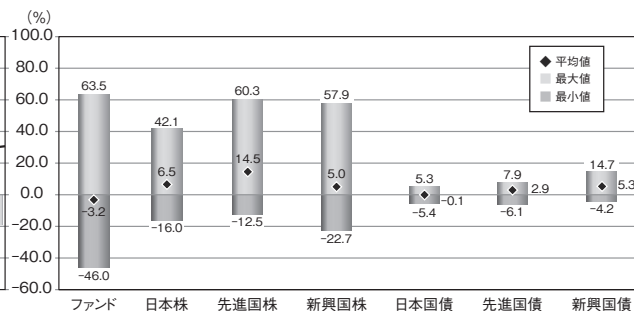
ファンドの課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格・年間騰落率の推移

2018 年 1 月～2022 年 12 月の 5 年間におけるファンドの課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格（各月末時点）と、年間騰落率（各月末時点）の推移を示したものです。



ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較

このグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、左のグラフと同じ期間における年間騰落率（各月末時点）の平均と振れ幅を、ファンドと代表的な資産クラスとの間で比較したものです。



出所：Bloomberg L.P. および指数提供会社のデータを基に
FC インベストメント・リミテッドが作成

- ※課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したものです。ただし、ファンドについては分配金の支払実績はないため、課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格は 1 口当たり純資産価格と等しくなります。
- ※ファンドの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその 1 年前における課税前分配金再投資換算 1 口当たり純資産価格を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※ファンドの年間騰落率は、ファンドの基準通貨である米ドル建てで計算されており、円貨に為替換算されておりません。したがって、円貨に為替換算した場合、上記とは異なる騰落率となります。
- ※代表的な資産クラスの年間騰落率（各月末時点）は、各月末とその 1 年前における下記の指数の値を対比して、その騰落率を算出したものです。
- ※ファンドと代表的な資産クラスとの年間騰落率の比較は、上記の 5 年間の各月末時点における年間騰落率を用いて、それらの平均・最大・最小をグラフにして比較したものです。
- ※ファンドは代表的な資産クラスの全てに投資するものではありません。

○各資産クラスの指数

日 本 株…TOPIX（配当込み）

先進国株…FTSE 先進国株価指数（除く日本、円ベース）

新興国株…S&P 新興国総合指数

日本国債…ブルームバーグ E 1 年超日本国債指数

先進国債…FTSE 世界国債指数（除く日本、円ベース）

新興国債…FTSE 新興国市場国債指数（円ベース）

（注）S&P 新興国総合指数は、Bloomberg L.P. が円換算しています。

TOPIX（東証株価指数）の指数値及び TOPIX に係る標章又は商標は、株式会社 JPX 総研又は株式会社 JPX 総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る標章又は商標に関するすべての権利は JPX が有します。JPX は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

FTSE 先進国株価指数（除く日本、円ベース）、FTSE 世界国債指数（除く日本、円ベース）および **FTSE 新興国市場国債指数（円ベース）**に関するすべての権利は、London Stock Exchange Group plc またはそのいずれかのグループ企業に帰属します。各指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income LLC またはそれらの関連会社等によって計算されています。London Stock Exchange Group plc およびそのグループ企業は、指数の使用、依存または誤謬から生じるいかなる負債について、何人に対しても一切の責任を負いません。



ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容

(第16期末現在)

2022年12月30日現在、有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第16期末
純資産総額	1,519,349.53米ドル
発行済口数	11,144口
1口当たり純資産価格	136.34米ドル

第16期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
20	3,575	11,144
(20)	(3,575)	(11,144)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。